



## 戸田ヶ原 リポート

夏の光がさんさんと降りそそぐ戸田ヶ原自然再生エリア第1号地。7月から8月にかけて、夏の草花が草はらを彩りました。



アブラゼミ抜け殻

ヤナギ林の周りのロープ柵に、いくつものアブラゼミの抜け殻がついていました。8月中旬には、ニイニイゼミ、アブラゼミ、ミンミンゼミ、ツクツクボウシの蝉時雨に包まれました。



7月の保全管理作業

7月16日に戸田ヶ原自然再生エリア第1号地の保全管理作業を行いました。戸田ヶ原サポーターの方々にご協力いただき、水辺のガマの刈り取りと運び出し、外来種のおオブタクサの抜き取り等を行いました。参加いただいたみなさん、ありがとうございました。ガマを刈り取った水辺は水面が見えるようになり、シオカラトンボやチョウトンボが飛来していました。



オグルマ

7月上旬から黄色の花を次々と咲かせています。花の蜜を吸いにチョウが訪れていました。



クサフジ

淡い紫色の花が涼しげに咲いていました。



ノカンゾウ

2012年の春に移植した株が花を咲かせ、緑色の中でよく目立っていました。

## とだみちゃんの着ぐるみが完成!

戸田ヶ原自然再生キャラクター「とだみちゃん」の着ぐるみが完成しました。10月27日(日)の「とだ環境フェア」で着ぐるみのお披露目を予定しています。ぜひ「とだ環境フェア」へお越しください。



## 戸田ヶ原サポーター活動予定

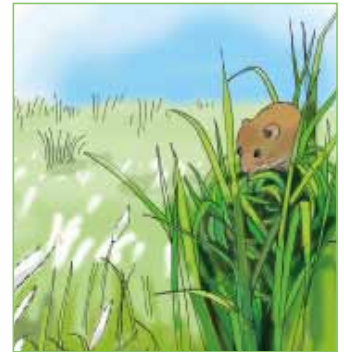
9月17日(火)に戸田ヶ原自然再生エリア第1号地の保全管理作業を行う予定です。また、10月13日(日)に彩湖・道満グリーンパークで開催予定の「秋の道満まつり」にブースを出展し、戸田ヶ原自然再生の広報活動を行う予定です。活動への参加を希望される方は、時間や集合場所などをお伝えしますので、事前に環境政策課までご連絡ください。

## 戸田ヶ原自然再生の目標種

### カヤネズミ

戸田ヶ原自然再生では、多様な生きものを育む場の再生を目指しています。今回は目標種のカヤネズミを紹介します。

カヤネズミは、日本で最も小さなネズミで、大きさは大人の親指くらいです。オギやチガヤ、ススキなどの生える草はらでくらし、葉を利用して直径10cmほどの球形の巣を作ります。かつての戸田市内にはカヤネズミの好む草はらが多くありましたが、まちが大きくなるにつれ、少なくなってしまうようになりました。戸田市の荒川沿いではカヤネズミが現在もくらし、カヤネズミのくらす草はらの保全管理を試験的に進めています。



### オグルマ情報

オグルマは大きく葉を広げ、葉の長さが15cmほどになっています。まだまだ暑い日が続きますので、水やりを忘れずに。



JR埼京線またはJR武蔵野線  
武蔵浦和駅より「下笹目行」バス乗車  
「彩湖・道満グリーンパーク入口」  
下車徒歩10分

JR埼京線 北戸田駅より  
tocoバス美笹循環乗車  
「道満」下車徒歩8分

